



Title	若手研究者フォーラム要旨集 第11回 目次
Author(s)	
Citation	若手研究者フォーラム要旨集. 2025, 11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102709
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第11回 若手研究者フォーラム

2025年9月29日(月)

会場：大阪大学豊中キャンパス A会場：文法経本館2階 大会議室
B会場：文法経本館 中庭会議室

スケジュール・目次

10:00-10:05 開会の辞

A会場:10:05-12:10 (発表15分+質疑応答10分)

研究発表①「近世琉球の外交と仏教僧 — 古琉球からの変化に着目して —」 (源 清香・現代日本学・博士後期課程1年)	5
研究発表②「「織る」虫・「怨む」虫 — 平安朝漢詩における「蟲」語群の詠法 —」 (小山 愛桂・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)	9
研究発表③「『古今和歌集』と『新古今和歌集』の嗅覚表現の表現構造 — 四季部における視覚との対応を中心として —」 (SEO YE-EUN・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)	13
研究発表④「〈反米〉と〈親中〉の間 — 1950年代の辻政信を事例として —」 (盧 思雅・現代日本学・博士前期課程2年)	17
研究発表⑤「五代十国における吳越国正統觀の考察 — 五代王朝との相違を中心に —」 (杜 智勇・東洋史学・博士前期課程2年)	21

B会場:10:05-12:10 (発表15分+質疑応答10分)

研究発表①「「丁固夢松」故事小考 — 十八歳の意味転換を中心に —」 (馬 超・演劇学・博士後期課程2年)	25
研究発表②「他者がもたらす公共ホールの揺らぎ —『障害と向き合う美術館』を起点に考える、舞台芸術の取り組み —」 (福島 尚子・アート・メディア論・博士前期課程2年)	29
研究発表③「大阪市立東洋陶磁美術館所蔵《青花樓閣山水文角瓶》について」 (宮崎 慎一郎・日本東洋美術史・博士前期課程2年)	33
研究発表④「『政治的リベラリズム』における「理性的」という理念の再検討」 (楊 淳・哲学哲学史・博士後期課程3年)	37
研究発表⑤「日本の戦後大衆音楽史における「フュージョン」の再検討 — 音楽雑誌『ADLIB』の言説空間に注目して —」 (岸本 寿怜・音楽学・博士前期課程2年)	41

12:10-13:20 休憩

A会場:13:20-15:00 (発表15分+質疑応答10分)

研究発表⑥「金嬉老事件と戦後日本の知識人 — 福田恒存の立場を手がかりとして —」 (崔 琢誠・現代日本学・博士前期課程1年)	45
研究発表⑦「芥川龍之介「京都日記」論 — 同時代の京都に関する言説へ接続して —」 (森本 悠陽・日本文学・日本語史学・博士前期課程2年)	49
研究発表⑧「異文化体験からうまれた「上海游記」」 (YAN WEICHEN・テクスト環境論・博士後期課程1年)	53
研究発表⑨「『忠度集』季節詠にみえる不遇意識 —「三月尽」題を中心に —」 (井上 京音・日本文学・日本語史学・博士前期課程1年)	57

B会場:13:20-15:00 (発表15分+質疑応答10分)

研究発表⑥「パーマカルチャーにおけるデザイナーと地域住民の協働」 (橋本 かれん・美学・博士前期課程2年)	61
研究発表⑦「「食べること」をデザインする意義とはなにか — マライエ・フォーゲルザングの実践を中心に —」 (瀧脇 翠苑・美学・博士前期課程1年)	65
研究発表⑧「アラン・レネのアート・ドキュメンタリー映画研究 —『ゲルニカ』(1950)におけるゲルニカの表象 —」 (水口 粋智・アート・メディア論・博士前期課程2年)	69
研究発表⑨「「不安」とは何かを問うために — フロイトにおける二つの「不安」理論 —」 (主藤 しゅう・臨床哲学・博士前期課程1年)	73

15:00-15:30 休憩・審査

15:30-15:40 授賞式・閉会の辞 (於:大会議室)